NTT DATA
Trusted Global Innovator

BizHawkEyeサービス概要
~ゆうちょ銀行（AnserDATAPORT）接続について~

2025年1月
株式会社NTTデータ
e-ビジネス事業部

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

本資料でのご説明内容について

1.BizHawkEyeのゆうちょ銀行接続について	ゆうちょ銀行様のデータ伝送サービスをご利用のお客様向けに、AnserDATAPORT方式による接続についてご説明します。
2.利用イメージおよびご利用のメリット	操作画面イメージや提供メニュー、ご利用のメリットについてご説明します。
3.ご契約スキームおよびご利用料金	ゆうちょ銀行様との接続における契約スキームや利用料金をご説明します。
4.お問い合わせ先について	本件のお問い合わせ先のご案内です。

BizHawkEye-ホームページ【資料ダウンロード】掲載の『BizHawkEye説明資料』と合わせてご覧ください。
https://www.bizhawkeye.ne.jp/download/

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

1.1. はじめに

- ゆうちょ銀行は一般公衆電話網・ISDNを利用したデータ伝送サービスを終了を発表し、この後継として「AnserDATAPORT」および「ゆうちょBizダイレクト（インターネットバンキング）」を提供されています。

日本郵政グループ

PRESS RELEASE

報道関係者各位

2019 年 12 月 16 日
株式会社ゆうちょ銀行

データ伝送サービスの終了および AnserDATAPORT®の取り扱い開始について

株式会社ゆうちょ銀行（東京都千代田区、取締役兼代表執行役社長　池田 憲人、以下「ゆうちょ銀行」）は、以下の通り法人向け送金・決済サービスであるデータ伝送サービスの終了および AnserDATAPORT®※1 の取り扱い開始について、お知らせいたします。

1　データ伝送サービスの終了

一般公衆電話網または ISDN を利用したデータ伝送サービスについて、2022 年 3 月 31 日をもって終了します。

※データ伝送サービスを利用した各種送金・決済は、AnserDATAPORT®（下記参照）およびゆうちょ Biz ダイレクトにて利用可能です。

2　AnserDATAPORT®の取り扱い開始

2020 年 1 月 6 日から、データ伝送サービスの後継サービスとして、株式会社エヌ・ティ・ティ・データの AnserDATAPORT®の取り扱いを開始します。

(1) AnserDATAPORT®について

株式会社エヌ・ティ・ティ・データが提供する専用の閉域通信回線（Connecure®※2）や LGWAN 接続サービス（*pufure*®※3）を使用し、大量のデータ授受を高速かつ安全に行うことができるサービスです。AnserDATAPORT®を利用している複数の金融機関※4 に対して、同一回線、同一手順、同一操作でデータの授受が可能です。

(2) 取り扱いサービス

総合振込、給与振込、自動払込み、振替 MT 伝送サービス、受入明細通知サービス、通常現金払

ゆうちょ銀行は今後も、お客さまにご満足いただけるよう、更なるサービスの提供に努めてまいりますので、変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2019年12月16日付 株式会社 ゆうちょ銀行 プレスリリース
出典：https://www.jp-bank.japanpost.jp/aboutus/press/2019/pdf/pr191216.pdf

「BizHawkEye」は、ゆうちょ銀行取扱いのAnserDATAPORTに接続するための、WEBサービスとしてご活用いただけます。

ゆうちょ銀行を含めた複数金融機関※とお取引のあるお客様に適したマルチバンクサービスです。

※AnserDATAPORT方式での接続はゆうちょ銀行のみとなります。
その他の金融機機関との接続はVALUX対応EBサービスにて接続可能です。

AnserDATAPORTとは

AnserDATAPORTとは株式会社NTTデータが金融機関向け※に提供する、企業様・自治体様と金融機関との安全な取引を実現するファイル伝送サービスです。金融機関と総合振込、給与・賞与振込、口座振替などのファイル交換が可能です。
※ご利用企業様はAnserDATAPORT導入金融機関よりサービス提供いただきます。

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

NTT DATA

1.2. BizHawkEyeゆうちょ銀行接続について

- BizHawkEyeは、従来のFB専用ソフト・伝送ソフトの代替としてNTTデータが企業様に直接ご提供するブラウザ型WEBサービスです。
- ゆうちょ銀行取扱いのAnserDATAPORTとの接続を開始しています。

ゆうちょ銀行（AnserDATAPORT）とデータ伝送するためのソフトウェアとしてご利用いただけます。

BizHawkEyeはインターネットへの接続環境があればご利用いただけます。

ご利用可能サービスは総合振込や給与振込などゆうちょ銀行様がAnserDATAPORTで提供するデータ伝送メニューに準じます。（振込・振替などのANSER（オンライン）取引は利用できません）

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

1.3. BizHawkEyeの概要（マルチバンク対応）

- ゆうちょ銀行との接続に加えて、BizHawkEyeと接続済のVALUX提供金融機関に対しても接続することが可能です。
- これにより、ゆうちょ銀行を含む複数の金融機関取引を容易に実現することができます。

【ご注意】
BizHawkEyeにてお取引できる金融機関や利用可能メニューは金融機関により異なります。
接続金融機関の一覧は下記HPを参照ください。
https://www.bizhawkeye.ne.jp/financeall/

BizHawkEye接続金融機関との取引を同一画面、同一操作で行えます。

複数の金融機関で接続実績のあるVALUXにも対応し高セキュリティを担保しています。

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

2.1. 画面イメージと特長

- BizHawkEyeは、Webブラウザ経由で手軽・安全に振込や入金確認が可能です。

TOP画面

一度のログインで複数金融機関とのお取引が可能です！

総合振込画面

複数金融機関とのお取引は全て同じ画面・操作性で完結できます！

トランザクション認証機能の採用など、万全のセキュリティを確保しています！

2.2. データ伝送メニューについて

- ゆうちょ銀行との取引はデータ伝送のみのご提供となります。
- ゆうちょ銀行「AnserDATAPORT」での利用可能商品（種別）、利用可能フォーマットに限ります。

「総合振込」「給与振込」「口座振替（自動払込み）」を全銀フォーマットで送受信する場合のメニューです。

※伝送ファイルは、別途作成したファイルをアップロードする方法[ファイル受付]と、本サービス上で作成する方法[データ作成]があります。

ゆうちょ銀行独自フォーマット（汎用・標準フォーマット）の送受信が行えます。

※伝送ファイルは、別途作成したファイルをアップロードいただく必要があります。

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

2.3. BizHawkEyeご利用のメリット

今までは	BizHawkEyeなら
取引金融機関にあわせて接続環境を準備していた	ゆうちょ銀行（AnserDATAPORT）とその他のVALUX対応金融機関での複数銀行取引を簡単・便利に実現します。
専用ソフトのインストールやメンテナンスが面倒	クラウドサービスだから、インストールやアップデートなどのメンテナンスは不要です。
社内で取引に利用できるPCが限定されてしまう	電子証明書をインストールしたPCなら、何台でも利用可能。取引データはクラウド上に保存。
承認などのワークフローを帳票など「紙」で実施している	100ユーザまで登録可能なワークフロー機能により、システム内で権限者による承認が可能です。

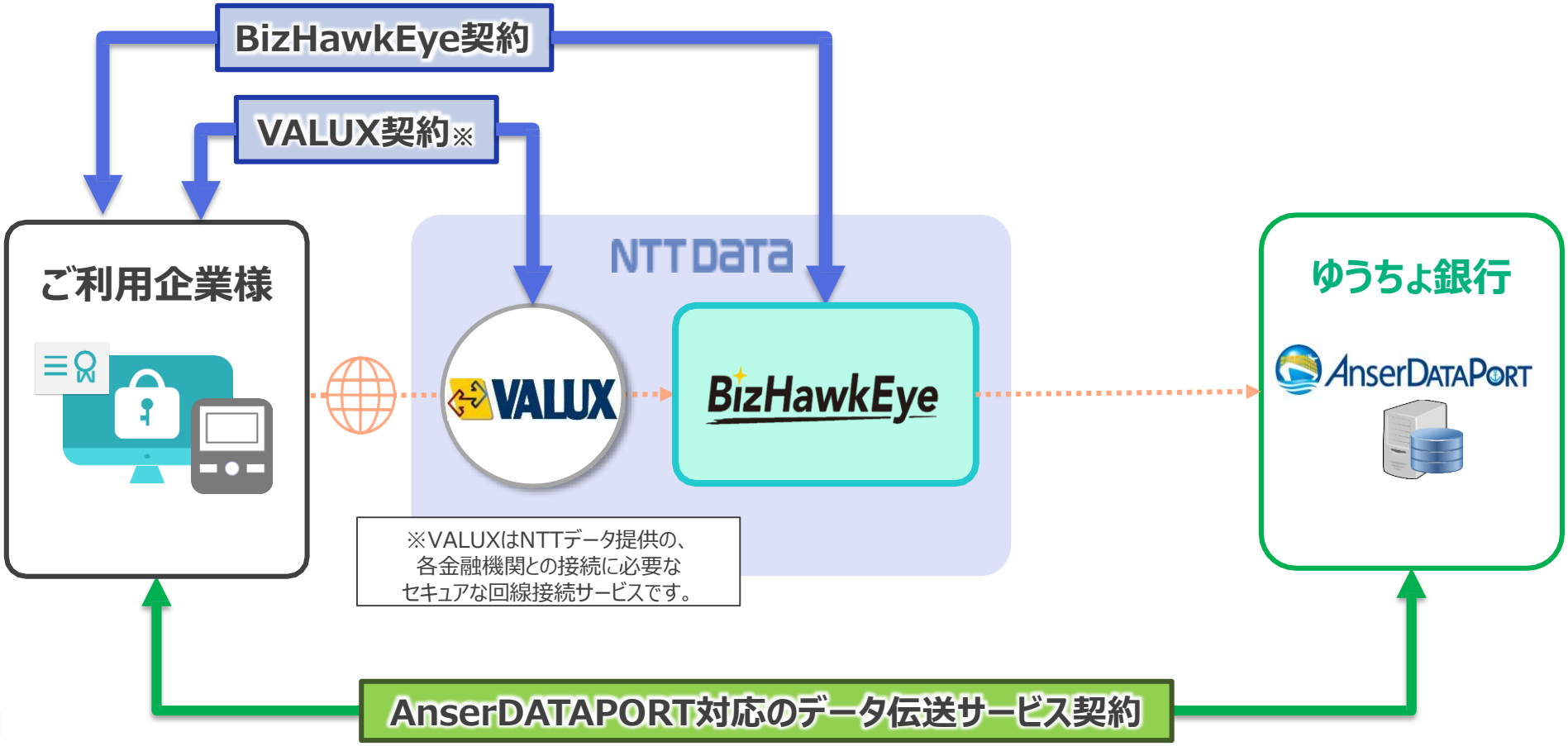
※電子証明書はご利用端末ごとに必要となります。

ゆうちょ銀行とEB専用ソフト（パソコン）にてお取引されているお客様は、AnserDATAPORTの導入にあわせて、BizHawkEyeのご利用をぜひご検討ください。

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

3.1. ゆうちょ銀行接続におけるBizHawkEyeの契約スキーム

- ご利用にはNTTデータと「BizHawkEyeサービス」および「VALUXサービス」のご契約が必要です。
- ゆうちょ銀行とはAnserDATAPORT対応のデータ伝送サービスのご契約が必要です。
  （その他の取引金融機関と接続する場合は、各取引金融機関とVALUX対応EBサービスのご契約が必要です。）



© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

3.2. BizHawkEyeご利用料金について

- ゆうちょ銀行とのデータ伝送お取引はBizHawkEye（標準機能）でご利用いただけます。
- ご利用には全銀ファイル伝送（VALUX）コンテンツのご利用が必要です。

料金項目	提供料金		課金単位
	初期費用	月額費用	
BizHawkEye 標準機能	33,000	4,400	契約毎に（企業単位）
VALUX　基本利用料	11,000	5,500	契約毎に（企業単位）
コンテンツアクセス料 ー全銀ファイル伝送（VALUX）	0	550	契約毎に（企業単位）
証明書利用料	1,100	220	証明書枚数
トランザクション認証料	1,100	550	トークン台数

料金例

ゆうちょ銀行とファイル伝送取引をご利用される場合は、
初期費用：46,200円～、月額：11,220円～となります。

※上記金額は消費税相当額を含んでおります。
※ご利用料金は証明書枚数・トランザクショントークン台数等により異なります。
※別途、ゆうちょ銀行に対してデータ伝送サービスの利用料等のご利用料金が別途発生します。

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

4. お問い合わせ窓口

BizHawkEye 公式ホームページ：https://www.bizhawkeye.ne.jp 「お問い合わせフォーム」よりご照会ください。

お問い合わせフォーム

フォームでのお問い合わせはこちらへ

お問い合わせフォーム

VALUXカスタマーセンタ

電話でのお問い合わせはこちらへ

0570-041800

受付時間：平日 9：00～17：45
（土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

※専用ソフトに関しては、専用ソフト入手元へお問い合わせください。

ナビダイヤルをご利用いただけない場合は、
03-4334-1800 までおかけ直しください。

電話番号を連続して押すと「通話禁止」と表示する事があります、
お客様の意図せぬ発信に対する安全対策ですので、
本サイトのセキュリティ等は、特に問題ございません。

・BizHawkEyeはNTTデータがご提供するサービスです。BizHawkEyeに関してはNTTデータ（本問い合わせフォーム）にご照会ください。BizHawkEyeサービスについて、ゆうちょ銀行様への照会はお控えいただくようお願いいたします。

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation

NTT DATA

Trusted Global Innovator

© 2025 NTT DATA JAPAN Corporation